

梅鶯仏教壮年会報

第116号
2014年
4月20日

梅鶯仏壮総会開催

去る三月二十九日に、平成二十五年度の梅鶯仏壮総会が開催されました。田中善博会長のもと議事が進められ、平成二十六年の各種行事が左記の通り決定されました。

なお総会では、つぎの事項も確認されましたので、ご報告致します。

○7月例会の開始は午後6時半とする。

○報恩講は昨年と同様に法輪寺と協賛厳修する。

○法輪寺永代経法要に梅鶯仏壮社会員として積極的に参拝する。

平成二十六年行事予定

5月25日(日)	例会
5月31日(土)	法輪寺永代経
7月27日(日)	例会
9月(未定)	親睦旅行
11月22日(土)	報恩講
12月30日(火)	除夜会
1月25日(日)	例会
3月28日(土)	総会・役員会

スリランカ(旧セイロン) 世界遺産の仏教遺跡を訪ねて⑧

副会長 森 勝昭

7月25日(水) 最終日
6時30分起床、7時30分朝食、8時30分出発。
古都キャンディから、旧首都コロンボに向かい観光地や寺院参拝となった。

イギリス領時代の王立であった広大なペラデニア植物園見学。日本ではまず見られない巨大なヤシの木。

ハワイの「この木何の木、気になる木」と同じパイカスベンジャミンの大樹。

大きな実をつけたダブルコナツ、アショカの木(無憂樹)、ドリアン、黒たん、白たんの木など珍しい樹木がいっぱいでした。

ケラニア寺院、ここでも裸足での参拝。

本堂内部の涅槃像、座像、釈迦の生涯を表した壁画などを見学。



ここでもさすがに仏教国。沢山の親子ずれや孫達の手を引いての参拝客でした。

これはビルマと同じ情景。日本でもかつてはこのような神社、お寺参りであった。

私たちが次の世代に伝えていく大切な仕事があります。途中パスの中でカラオケが始まった！

添乗員トラベルサライの柴野さんからマルマルの歌詞を忘れました。歌詞を忘れました。歌のシビリさんが「二人酒」を歌ってくれました。

うまいうまい皆なびっくり大拍手。

つづく

釈迦の生涯を表した



ケラニア寺院



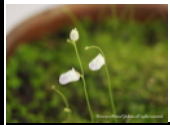
題材法話

浄土真宗のみ教え（序）

浄土真宗は、阿弥陀様からの呼び声を聞かせて頂く教えです。けれど、「阿弥陀様からの呼び声」が、まったくのようないくつかの分岐点から、たまたま「信じよう」というのであれば、それは妄信と言わざるを得ません。やはり浄土真宗の門徒として、お念仏を悦ぶ身となるためには、正しく「浄土真宗のみ教え」を学ぶことが大切であり、梅鶯仏教壮年会の発足に当たって「語り合い尋ねる聞法の世界」とさせて頂いたのも、このことからです。ただし、み教えを学ぶことは、本願による救いの条件でも行でもありません。でもこのところは、これまでにも繰り返しお話ししてきたので、極めて大事なところなので、よく心得て頂きたいと思います。浄土真宗のみ教えを学ぶことによって、阿弥陀様の「われに



まかせよ。必ず救うぞよ」との声が聞こえてくるので。す。「私が聴く」世界から、一聞こえてくる」世界に転ぜられるのです。「学ぶこと」すなわち、「聞法の世界」そのものが「聞法の世界」だったことに気づかせて頂くのです。○「み教えを学ぶ」とは、それではどのように浄土真宗のみ教えを学べば良いのでしょうか。機会があればお説教を聞くことや、関係の本を読むこともその一つでしょう。しかし、やはり基本は、お釈迦様の教えや、親鸞聖人の教えを直接学ぶことが大切なのです。仏教では古来より、お経を読むことが大切な行為とされてきました。浄土真宗でも、浄土教の根本経典である浄土三部経（仏説無量寿経・仏説阿弥陀経）を量経することや、日常的に読経することや、往生は善導大師の『礼讃偈』が勤められ、てきました。○蓮如上人のご功績



とところがどうでしょう。經典を専門に学んでいる者ならまだしも、ほとんどの人達が、ちんぷんかんぷんのままお勤めをしていたのでは、ないでしょうか。行動に移されたのが蓮如上人です。作家の五木寛之さんは、「法然は易しく、親鸞は深く、蓮如は広く」と評されています。すなわち、法然上人はお念仏のみ教えを分かり易く説き、親鸞聖人はそれを深められた。そしてその深められたお念仏のみ教えを人々に広められたのが蓮如上人だと、それぞれの方々の功績を讃えられていくのです。実際に作家らしい評価の仕方だと感心致します。一「広く」お念仏のみ教えを伝え、人と評される蓮如上人は、一体どのような取り組みをなされたのでしょうか。数多くの取り組みの中に、「正信偈」を制定さ



れたことがあります。これは親鸞聖人が顕された正信念仏偈と和讃に念仏を組み合わせて、これまでお経を作成されたのです。また御文章（お文）を作成して、多くの方々を広く教化されました。このどちらも当時の人々にとっては親しみやすく、浄土真宗のみ教えを易しく領解することができたことでしょう。○「拝読浄土真宗のみ教え」ところが時代が移り、現代の私たちがとっては、「正信偈」も「御文章」も親しみは感じますが、その意味を理解するとなると、少し困難になってきています。そこで、「現代の言葉で表現され、み教えに出あえることができる文章を」と、本願寺で作成されたのが「拝読浄土真宗のみ教え」です。梅鶯仏教の例会では、この本によって、お念仏の悦びを深めていきたいと思ひます。一月例会住職法話より